

## 令和2年度上半期 精神部会活動報告

【目的】精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

### 【主な活動】

#### 精神部会

##### ●精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議

退院支援、住まいの確保支援、地域の資源の充実等の必要な課題検討を行い、地域づくりを行っていく。そのために以下の様な取り組みを上半期では実施した。

①まずは、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」について改めて第1回部会で学習会を実施。その上で、今年度は普及啓発活動と、地域移行支援マニュアル作成に重点を置くため、委員会を設置した。

##### ②事例の共有

「体調の波はあるが、支援者が連携しながら、一人暮らしを継続している事例」を共有。医療・保健・福祉、それぞれの関係者が関わっている事例で、チーム支援の大切さを共有できた。

##### ③ピアサポーターの養成についての学習会

長野県ピアサポートネットワーク事務局長 大堀尚美氏を講師に、ピアサポーターの役割やどのように活躍されているか等の学習会を実施。今後の検討につなげたい。

#### 普及啓発活動委員会

●安心して暮らし続けていける地域づくりを目指し、普及啓発活動を行っていくため、地域の方に向けた広報紙を作成することとした。現在内容を検討中で、地域の資源や地域の中で活躍されている当事者の様子等を盛り込みたいと考えている。

#### 地域移行支援マニュアル作成委員会

●地域移行の支援を行う際、支援機関の担当者が代わっても変わらない支援ができるよう、マニュアルの作成を目指す。支援の進捗状況の確認や、どんな支援が必要なのか把握できる内容にしたいと考えている。

#### 仲間としゃべろう会虹

●当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として開催。月1回、中野会場・飯山会場での隔月開催を予定していたが、コロナ禍において、安全を最優先し、今年度は休止することとした。